



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年03月11日 第910号「週刊五十嵐レポート」

思いつきを確信にする

思いつきで経営をすると、価値が低い仕事や根本的に間違った仕事を全員ですることになるので、経営効率は悪くなり、業績も悪くなる。

社長A曰く、「今まででいたい思いつきで『これ行けるかも』と思って、手を出していた。それがたまたま上手く行って、それが基本になってしまう。あながち正解のような気がする。思いつきの経営で上手く行っても、その後、経営が立ち行かなくなる。それは、経営者として学びが少ないのかな。経営を勉強していくと、思いつきが確信になる。ただの思いつきでやると、原理原則から逸脱すると失敗することが解ってきた。痛い目に合うとよくわかる。思いつきがルール通りかどうか、合致すると確信になる」。

新商品や新事業を考えると、社長の性格と過去の経験に合っているものを選ぶ(社長が好きなもの)。もし儲けたいという「欲の深さ」だけで決めてしまうと必ず失敗する。

飲食店のB社長曰く、「飲食店は現金商売。少し良くなると現金が溜まってくる。業界では、経営を勉強する人は少ない。簡単に調子に乗る。ある社長はハワイ(海外)にレストランを出した。1億円ほど投資したが赤字で2年後撤退。そんなの原理原則から逸脱しているわけだから当初から失敗することは解っていた。『儲けたい』という欲の強さはあるが、『儲かる』ために何をすべきかが抜けている。『儲かる』プロセスの一つに戦略がある。そこを外している。経営を勉強していない社長と話しても、言葉が通じない。戦略が解っていないし、自分は特別だと思っている」。

建設業のC社長曰く、「もう30年以上同じ仕事をしている。経営を勉強していないと、もうこんなもんだと諦めてしまう。勉強のお陰で、細分化してみると他社が気づいていない分野がある。そこで一番をとると利益性がグンと良くなる事が解る。まだまだ伸び代があることに気づかされる」。

「思いつき」の意味には二つある。工夫・着想。またはいいかげんな考え・気まぐれ。確信にするには、経営を学ぶこと。「学びてときにこれを習う。またよるこばしからずや」

ちょっと
気になる出来事

日経新聞夕刊の「人間発見」(3月4日~8日)は山川出版の野沢社長。

山川の歴史の教科書は毎年日本史・世界史合わせて90万部ほど売れる。累計で5000万部。とんでもないロングセラー。高校教科書のシェアは、日本史70%、世界史60%、進学校に限定すると90%。

毎年続けているのは、全国の高校訪問。社長自ら春に400校、秋に150校訪問。先生方は年に1度の訪問を歓迎してくれる。

1965年、教科書広域採択制度により、市町村ごとに小中学校が同じ教科書を使うことになり、教育委員会などが決定権を持つようになった。大手出版会社の接待攻勢が始まった。

山川は接待は一切しない方針。小中学校の教科書事業から撤退。高校の教科書は学校ごとの採択なので、大手出版会社は効率が悪い。山川が生きる道は高校教科書しななかつた。小さい世界でも狭い分野でもいい、ナンバーワンになれば生き残れる。それが経営の道だった。

帝国データバンク調べ、1人当たりの純利益は130万円。出版業は40万円。平均の3倍以上。ここでも小規模1位主義、部分1位主義が通じている。



一口メモ
知識

儲けようという思考に走ると

儲かることは決して悪いことではありません。ただ、「儲けよう」という気持ちが入ると、よくないのです。儲けようと思うと、ぜんぶ壊れていきます。

「儲けよう」というのは、何とかして高く売って利幅をとろうということで、それは奪うことなのです。奪い尽くせば、やがて奪うものはなくなってしまいます。

「儲けよう」という思考だけでいくと、そこには貢献がなく、いつか倒産します。

「儲けよう」ではなく、「人の役に立とう」という仕事は、倒産しないのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムツレ・スマナサーラ)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
 - 「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時
 - 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。
- (株)五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

